

市立甲府病院 地域医療連携だより

基本理念「いのちに光を、心にやすらぎを」

地域がん診療連携拠点病院

日本医療機能評価機構認定病院



No.3

平成23年9月発行

市立甲府病院

地域医療連携室

～ 地域医療連携室長あいさつ ～

初秋の候、各医療機関の皆様方には益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素より当院の地域医療連携に対し格別のご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

地域医療連携室では連携強化のため新たに看護師1名を増員して紹介患者の受入れ等がスムーズに進めることが出来るよう努めておりますが、当日ご紹介の患者様の受入れに時間がかかることご指摘が多いため、ご紹介いただく際に具体的な診療科（循環器科、呼吸器科、消化器外科）、医師名を電話交換手に伝えていただければ、直接担当医師や看護師につなぐ体制を整えておりますので、ぜひご利用ください。

また、地域がん診療連携拠点病院として2年目を迎え、がん患者様の受入れ体制、各分野においてがん専門医、指導医によるガイドラインに基づいた専門的治療体制も充実させてがん治療に対しても積極的に取り組んでおります。

今後も地域医療勉強会等を通して先生方との交流を図り、地域の皆様により良い医療を提供できるよう地域医療機関との適切な役割分担を推進して参りますので、引き続きご指導を賜りますようお願い申し上げます。



室長 巾 芳昭

■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■ <地域医療連携室よりお知らせ> ■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■

当院への患者様の紹介につきましては予約をお取りしますので、ぜひ地域医療連携室をご利用ください。予約の患者様を優先して診察いたします。

★救急患者の受入れについて

(1) 診療を希望される診療科が分かっている場合は、直接診療科へ電話してください。診療科の外来看護師が対応し、当番医師等へ連絡を取り対応させていただきます。(なお、希望医師名がはっきりしている場合、貴院医師から当院医師へ直接連絡をいただくとより迅速な対応が可能となります。)

(2) 診療を希望される診療科が不明な場合は、まず外来看護師長が対応する中、診療科を決定し外来看護師から当番医師へ連絡を取り対応させていただきます。

※なお翌日以降の診療や入院等を希望される場合は、今まで通り地域医療連携室で対応させていただきますので、「診療予約申込書」に所定事項をご記入の上、FAXで送信してください。

★開放病床について

病床が必要な患者様に対して、かかりつけ医(登録医)と当院の主治医が連携し、患者様が安心して継続した医療を受けていただくための制度です。共同診療を行うことで、患者様が退院された後もかかりつけ医の先生が病状を把握しやすくなりますので、ご利用いただきたいと思います。

詳しくは、下記までお問い合わせください。

【問い合わせ先】 地域医療連携室 TEL: 055-244-1111 (内線) 2211

FAX: 055-220-2660 担当: 千野、小池まで

診療科紹介

耳鼻咽喉科

担当医師 石山 哲也、古瀬 寛子



副院長 石山哲也

耳鼻咽喉科学会専門医2名で耳鼻咽喉科領域全般にわたる診療を行っています。難聴、めまいなどの神経耳科学的疾患の診断と治療に力を入れています。手術では鼓膜チューブ挿入術、鼓膜形成術、鼻中隔彎曲症や慢性副鼻腔炎に対する内視鏡下鼻副鼻腔手術、口蓋扁桃摘出術、声帯ポリープ切除術、頸部良性腫瘍摘出術、再建術を必要としない悪性腫瘍手術などを主に行っています。突発性難聴、めまい疾患、顔面神経麻痺、重症の鼻出血や急性感染症では入院治療も可能です。誤嚥性肺炎の患者様には内視鏡を用いた嚥下機能評価も行っています。よろしくお願いいたします。

小児科

担当医師 青山 香喜、山崎 崇志、望月 美恵、塚原 恵子、中村 千鶴子



部長 青山香喜

当院小児科は29床（NICU3床、新生児病床3床、小児一般病床23床）です。院内学級（小学校・中学校）も有しており、低出生体重児から肺炎・川崎病などの急性期疾患、ネフローゼなどの慢性疾患など思春期までの様々な疾患を常勤小児科医5名で対応しています。小児の全ての疾患に対応するため入院患者の診察はチーム医療を基本とし、難治・重症疾患には医師全員でのカンファランスで治療方針を決定しています。常に「丁寧な診療」と「地域医療連携」を大切にするように心がけています。専門外来としてアレルギー外来、循環器外来、腎臓外来、予防接種外来などを設けています。殆どの小児疾患に対応が可能ですので、ご紹介お願いいたします。

産婦人科

担当医師 平井 光男、小川 恵吾、大内 秀高、海部 真美子、原 典子



部長 平井光男

当科は平成23年度現在、常勤医師が男性3名、女性2名の計5名（うち4名が産婦人科専門医、1名も本年度内に取得予定）在職しています。また、助産師は非常勤を含めると25名が在籍し、ここ数年は年間約800件の分娩を取り扱っていました。平成22年度は分娩件数が850件と増加し、平成23年度も同様の傾向が続いたため、分娩予定者が多い月は正常妊娠のご紹介を制限せざるを得ない事態になりました。今後もやむを得ず正常分娩の制限をお願いするかと存じますが、未受診妊婦を含めたハイリスク妊娠に関しては、出来る限りご紹介に応じて行きたいと思っています。

また、8月から助産師が妊婦の検診や保健指導を行う助産外来を週5日（月曜～金曜日）に拡大し、経験豊富な助産師がじっくり相談に乗りますのでご利用いただきたいと思います。

婦人科手術は年間約100件行われています。良性腫瘍や骨盤内感染症その他の婦人科症例についても、今まで通りのご紹介がいただければ幸いです。

歯科口腔外科

担当医師 藤井 英治、稲葉 好則



部長 藤井英治

昨年度歯科口腔外科を初診された患者様の総数は、1,268名でこのうち地域の医療機関の先生方からの紹介患者様は819名(64.6%)でした。最も多いのは埋伏智歯の抜歯症例で、396名でした。当院では全身麻酔下に複数の埋伏智歯を同時に抜歯することが可能で、小児の上顎過剰埋伏歯の抜歯も全身麻酔下に実施しております。歯の外傷や顎骨骨折の治療にはダイレクトボンディングシステムを用いた歯周組織への損傷のない線副子固定法を選択しており、骨折部の接合材としては生体内で分解吸収されるポリ乳酸製プレートを使用しています。いびきや睡眠時無呼吸症候群の治療目的で使用するスリープスプリントの作製も行っております。

眼科

担当医師 杉山 茂



科長 杉山 茂

眼科専門医1名、視能訓練士2名、看護師1名の4名で診療に当たっています。白内障、緑内障、糖尿病網膜症、斜視弱視などを中心に眼科全般の治療を行っています。手術は白内障を中心に翼状片や斜視手術などを施行しています。その他糖尿病網膜症などに対するレーザー治療、後発白内障に対するYAGレーザーも行っています。現在一人体制のため白内障手術の患者様は8~9カ月待ちの状態になってしまっていて、周りの先生方にご迷惑をお掛けしていますがこれからもよろしくお願いいたします。

各セクション紹介

緩和ケア室

担当医師 西川 圭一



室長 西川圭一

当院では「地域がん診療連携拠点病院」として、平成22年度より緩和ケア外来を開設しております。がん診療にあたっては、外科手術、化学療法、放射線治療などの抗がん治療と並んで、患者様ご自身がその人らしい日常生活を有意義に過ごせるよう、痛みのコントロールをはじめとした身体やこころの苦痛を和らげることやご家族への精神的支援を行う緩和ケアが極めて重要です。対象はがんまたはがん治療に伴う身体的、精神的症状、その他のつらい症状でお困りのがん患者様及びそのご家族です。診察日は毎週火曜日午前中ですが、予約制で初診の際は紹介状が必要です。地域医療連携室にお問い合わせください。

中央検査室



技師長 海野勇蔵

中央検査室は2階の西側に位置しており、検体検査室と生理機能検査室に分かれています。検体検査室（生化学、血液一般、免疫、尿一般、病理、細菌、輸血）には11名の臨床検査技師を配置し、生化学自動分析装置をはじめとする最新鋭の検査機器を導入して精確でかつ迅速に検査結果を報告できる体制を整えています。

また、生理機能検査室では6名の検査技師で心電図など循環器系の検査や超音波検査、脳波検査、聴力検査、平衡機能検査を実施しています。検査結果は、ファイリングされ画像を含め電子カルテにて検索することが出来ます。なお、週2回（月、水）SAS（睡眠時無呼吸症候群）の検査も実施しており、年間の検査実施数は県内一とも言われています。